



野崎 社長

住宅資材販売のウッドワールドのさき(岡山市、野崎和良社長)はこのほど「新年懇談会」を岡山市内のホテルで開催。当日は同社事業方針が発表され、取引先のメーカーや販売先など約150社が参加した。

新年度事業方針概要について野崎社長は、サブプライムローンをきつかけとする世界的な金融恐慌、経済の悪

化の日本への影響を述べた後、キーワードとして「
▽エコ省エネ、長期優良住宅」太陽光発電も当社専門部隊を設ける。木材はCO₂を吸

エコへの取組み強化

ウッドワールドのさき

ピンチをチャンスに捉える

取し固定化、木造住宅の環境効果をアピール▽瑕疵担保責任の義務化
II 当社は住宅瑕疵担保責任保険の住宅あんしん保証と提携。10月の施行に向けて、4、5月以降の物件にも影

響し、検査員不足による工事のストップも考えられ、保険の複数加入が求められるマリフォーム事業の拡大
II 住宅市場で伸びているのは木材・建材だけ

は、家電やホームセンターなど異業種にも注目し、我々も力を入れているV.I.Tの活用
II 地場の工務店も70%がホームページから顧客と聞かれた。当社は住まい夢

材は円高で安くなる。大手のリストラ、内定取り消しで我々中小は良い人材が取れる。ピンチをチャンスととらえることが大事。周りが悪いと言いつぎると閉塞感が出てくる。全

体た消費動向は減少するが、住宅に対する投資は根強いと言われ。現在は、本当に金のある人は家を建てる時期。悪い時期に智恵を絞り、資材メーカー、工務店、施主と一体となり家づくりを目指す。今年はその価値が問われる。単に物を右から左へ流すのではなく、顧客との信頼関係を結び、支援していきたい」と方針を語った。

この後、懇親会で舞原繁栄常務は「昨年、流通業としての機能再構築、サポートセンター新設による営業の機能強化、イベントによるお施主様探し活動推進・仕事づくりの支援、プレカットの拡充、住宅の保証業務の推進、この5つを重点に営業改革に取り組んだが改善の道半ばであり、今年も継続して取り組んでいく。さらに次世代省エネの普及を含めて、エコへの取り組みに力を入れる。その一環として太陽光発電システムや200年住宅、CO₂削減に取り組みたい」と話した。

なお、講演会では南雄三氏(住宅技術評論家)が「激しく変化する省エネ施策の動向」をテーマに解説した。